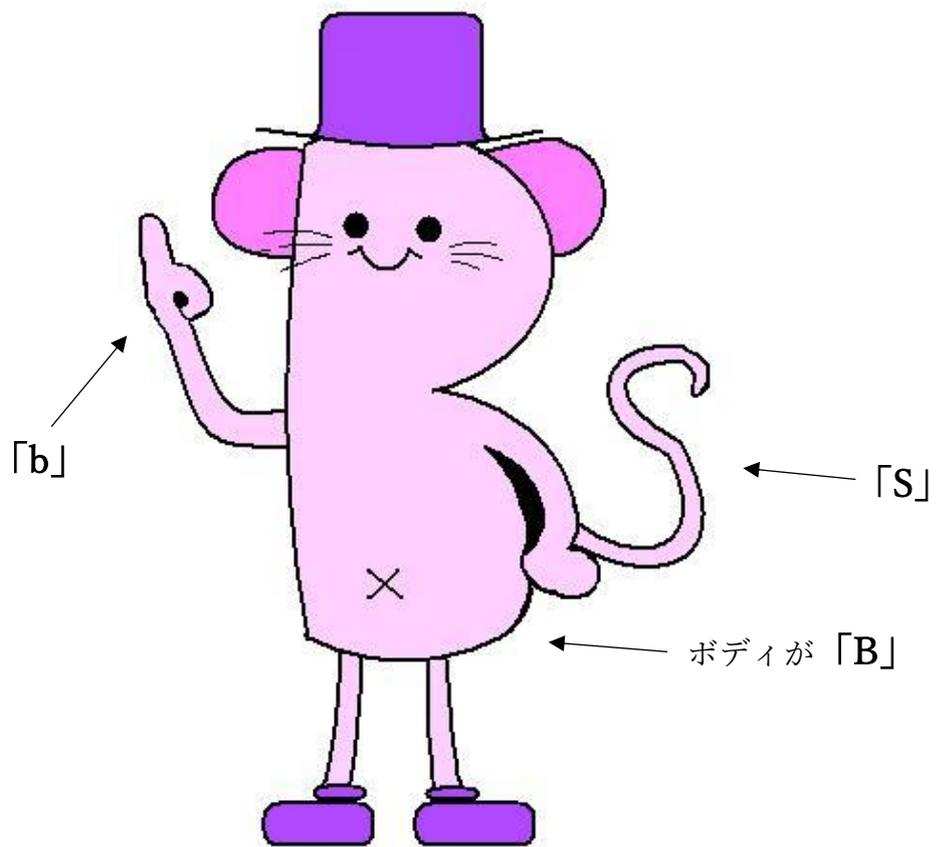


2020年度（令和2年度）
中国地方BBS連盟 活動報告・会員の感想



中国地方BBS連盟マスコットキャラクター

チュウBくん

2003年(平成15年)10月開催の
中国地方BBS連盟発足50周年
記念大会に誕生。

中国地方BBS連盟事務局

【目次】

◆ コロナ禍、BBS活動再開の模索①	2
◆ このまち思い えがお食堂	4
◆ コロナ禍、BBS活動再開の模索②	6
◆ コロナ禍のBBS活動・物の大切さ	8
◆ 京都 kongress・ユースフォーラム	9
◆ 令和2年版再犯防止推進白書 民間協力者の活動の促進等	12

(東広島地区BBS会 久住浩慈さん)

http://www.moj.go.jp/hisho/saihanboushi/hisho04_00009.html

(法務省ホームページより)

《参考》 COVID-19による中国地方の学生BBS会員への調査報告
(2020年6月報告)

～BBS (Big Brothers and Sisters)について～

日本のBBS運動(Big Brothers and Sisters movement)はアメリカの運動を参考にされ始まった。アメリカでは現在、Big Brothers Big Sisters (BBBS)と呼ばれている。その始まりは、19世紀終わり頃からの急速な近代化の発展により、荒む少年が増え、それを憂慮したニューヨーク市少年裁判所書記官の Ernest Kent Coulter が、1904年12月3日に39名の同意を得て、Big Brothersを組織化した。

日本では第二次世界大戦後、京都の一大学生が、「戦災孤児や荒みきった社会において、悪の道に落ちていく少年たちを守るための会議が持たれた。」という記事を読み、京都府庁へ投書し、その手紙が京都少年審判所へわたり、京都少年審判所の多大なる協力を得て、1947年(昭和22年)2月22日に「京都少年保護学生連盟」が発足した。これが日本のBBS運動のはじまりとされている。

中国地方では、1947年松江、1949年鳥取と広島、1950年岡山と山口に組織が発足。1953年(昭和28年)10月17日に中国地方BBS連盟が発足した。

中国地方のBBS会員数は、355名(令和3年1月1日現在・法務省保護局調べ)。

※この報告は、中国地方BBS連盟事務局が配信しているメールマガジン
「チュウBメルマガ」等から掲載しています。

◆◇◆コロナ禍、BBS活動再開の模索①◆◇◆

中国地方BBS連盟が8月に学生の活動調査した結果、回答いただいた全6組織から、COVID-19の影響で大学側から自粛要請等で活動休止となっていることがわかっています。

BBS活動の再開を模索するため、各学生のBBS組織から話しを聴き、現状やみなさんの思いを伝えてたいと思います。

第1回は、東広島地区BBS会（広島大学）。
会長の池谷彩希さん（3年・心理学専攻）に聴きました。

●BBS活動の再開に向けて、いま困っていることは？

再開の時期を決められないことです。大学のサークルという形をとっている以上、大学からの許可がないと団体としての活動ができません。ただ私たちのアルバイトや地元への帰省等により、子どもたちへの感染リスクが全くないとは言いきれないため、まだ団体としての活動再開は難しいと考えています。

●BBS活動の再開に向けて、必要なことは？

普段から重要なことではありますが、関係機関との連絡だと思います。

COVID-19に関しては、特に感染予防についての認識を共有する必要があると感じます。

●活動先との連絡は継続して取っとる？／活動再開に向けての話し合いはある？

活動先との連絡は取っています。活動再開に向けての話し合いについては、大学から活動許可を得てから行う予定です。活動先とBBS会双方の準備ができてからの再開になりそうです。

●活動再開可能な状態になった時、学生は活動できそう？

ボランティアは個人の都合に合わせて活動することができると思います。

しかし、イベントが中止になったり、例年通りBBS会として協力できない行事もあるので、会員が同じ場所に同じ時間に集まって行う活動がないというのが現状です。

●その他、池谷さんからー

直接会うことがためられる状況でオンラインによる交流が注目されましたが、オンラインでの活動を行ったBBSがあれば、お話を聞きたいです。

私個人としては、特に子どもと関わる時には「直接会う」ということに意味があるように感じています。会員同士の話し合いについては大学での授業と同じようにオンラインでもいいのかなと考えていますが、子どもと関わる時には画面の向こうの相手ではなく、そばにいると感じられる対面での関わりが重要かなと考えています。

----- 【配信日:2020.10.10】

◆◇◆このまち思い えがお食堂◆◇◆

11月14日(土)、広島市内で「このまち思い えがお食堂」(※)が行われ、三原地区BBS会 坊野舞さん(県立広島大学3年・福祉専攻)が参加。70名を超える方々が来られました。そのレポートです。

当日私は紙芝居の様子の写真撮影と、お弁当の受け渡しを担当しました。

COVID-19の影響で、お弁当は袋に入れた状態で渡すため、はじめは子どもたちとあまり会話が弾まず、ただ渡すだけとなってしまい、味気なかったのですが、サンプルとしてお弁当の中が見えるものを置いてみたところ、「おいしそう!」「豪華だね」と言ってくれる子どもたちが増えて、コミュニケーションが取りやすくなりました。

紙芝居がお弁当の中の食材や栄養素を紹介する内容だったため、見た後の子どもたちと実際のお弁当を見ながら「さっき紙芝居で言ってた〇〇はどれかな?」といった話ができ、一緒に食事はできなくても楽しむことができました。

コロナ禍での開催ということで雰囲気の間接的想像がつかず少し不安もありましたが、無事終わることができ、たくさん子どもたちにお弁当を喜んでいただけたのがうれしかったです。また通常開催に戻った際にはぜひ参加してみたいと思いました。

(※)「このまち思い えがお食堂」とは—

月1回(土曜日)実施。未来を担う子どもたちの健やかな心身の育成を目的に、「このまち思い えがお食堂」の展開を通じて、“社会を明るくする運動”を支援し、ずっと住み続けたいと心から思えるこのまちの明るい未来づくりとともに、持続可能な開発目標 SDGs の実現に貢献。

主催の実行委員会には広島県BBS連盟を含む更生保護団体等、共催は広島ガス株式会社。

<https://www.hiroshima-gas.co.jp/konomachi-ene/egao/index.htm>

(広島ガス株式会社ホームページ)



----- 【配信日：2020.12.11】

◆◆◆コロナ禍、BBS活動再開の模索②◆◆◆

中国地方BBS連盟が8月に学生の活動調査した結果、回答いただいた全6組織から、COVID-19の影響で大学側から自粛要請等で活動休止となっていることがわかっています。

BBS活動の再開を模索するため、各学生のBBS組織から話を聴き、現状やみなさんの思いを伝えていくシリーズ。

第2回は、島根県立大学BBSサークル。
部長の萩原梨央さん（3年）に聴きました。

●バルーンアート講習会の内容について

11月19日お昼休みに学内施設にてバルーンアート講習会を行いました。新型コロナウイルス対策として参加者全員のマスク着用、室内の換気、使用した道具の消毒を行いました。

講習会では普段の活動でよく作る剣や犬、花などの作り方を上級生から下級生に教えました。新入部員数名の参加もあり、交流を図ることができました。

●講習会の開催経緯

例年バルーンアート講習会を5月に開催していたのですが大学側からのサークル活動自粛要請出ていたこと、新入部員が0だったことから開催を延期していました。今回、大学側から活動の自粛解禁と新入生数名の入部があったため開催に至りました。

●BBS活動の再開に向けて、いま困っていることは？

活動が再開できるようになったとき例年通りサークルを運営していけるのか不安です。2年生が来年度から中心となりサークルを運営していくのですが、今年度は活動ができておらず、彼らはほとんど未経験の状態です。

新入生が数名しかいないため人手不足でもあります。サークルの活動を維持していけるようにできる限りサポートできればと思っています。

●BBS活動の再開に向けて、必要なことは？

活動先との継続した連絡と、部員のモチベーションの維持だと思います。感染対策の認識の共有し、活動が再開できるようになったとき迅速に動き出せるようにするためにも、連絡を継続して行っていく必要があると思います。また活動が断たれ部員のモチベーションが下がっていること目に見えて分かるので、盛り上げモチベーションを維持していく必要もあると考えています。

●活動先との連絡は継続して取っとる？／活動再開に向けての話し合いはある？

一部活動を再開しているため連絡を取っているところもありますが、活動再開の見通しが立っていないほとんどの活動先と連絡が取れていない状況です。

活動先との活動再開についての話し合いは、あまり進んでいないというのが現状です。

●活動再開の見通しは？

大学側からの活動自粛が一部解禁されたので、これまでよりは参加できる活動が増えてくると思います。ですが全国的に感染者数が増加の傾向にあるため油断できない状況です。

今の活動できる期間にしっかりと動けるよう、普段からサークル内で連絡を取り合い認識を共有し備えたいと思います。



----- 【配信日：2020. 12. 19】

◆◆◆コロナ禍のBBS活動・物の大切さ◆◆◆

中国地方BBS連盟では、今年度当連盟の会員研修会と大会2事業がCOVID-19により中止になったことによる、独自の活動助成を実施しています。（1地区5万円上限・中国地方のBBS組織限定）

この助成で活動を実施した、鳥取地区BBS会からのレポートです。

定期的に活動している、児童養護施設の青谷こども学園に入所している中高生たちが通学の際、最寄り駅まで歩いているので、自転車3台を3月13日（土）に寄贈しました。

これからこの自転車をとおして、物の大切さを伝えていきたいと思っています。

★会員の感想★

男子生徒たちの満面の笑みと感謝の言葉を直接聴き、こちらもなぜか嬉しくなりました。贈呈式には園長先生をはじめ、多くの職員のみなさんに見守られて、拍手をいただき、BBS活動のやりがいを感じました。



----- 【配信日:2021.03.15】

◆◇◆京都 kongress・ユースフォーラム◆◇◆

京都 kongress・ユースフォーラムとは

京都 kongress (第 14 回国連犯罪防止刑事司法会議) (*1) の議題に関連したテーマ (*2) について、京都 kongress に先立ち、世界の若者約 160 名が議論した会議。

その会議の結果を、若者の声「勧告文」として、京都 kongress のオープニングで提出しました。

ユースフォーラムに BBS 会員 7 名が参加しましたが、中国地方からは、東広島地区 BBS 会の鬼崎遥さん (広島大学 3 年・教育学専攻) が参加されたので、お話を伺いました。ユースフォーラムの準備と本番について、お届けします。

(*1) 第 14 回国連犯罪防止刑事司法会議とは



【ユースフォーラムまでの道のり】

BBS 会員の京都 kongress・ユースフォーラムに向けた準備は、2019 年 6 月に始まりました。当初、2020 年 4 月に開催予定だったユースフォーラムに向けて、様々な研修会やシドニーでの第 4 回世界保護観察会議、シンポジウムなどに参加しました。全国の BBS 会員や BBS 以外の更生保護に携わる方々との交流を通して、更生保護における BBS 活動の意義について考えるきっかけとなりました。

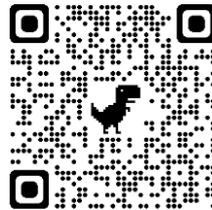
2020 年 3 月、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりユースフォーラム開催の延期が決定し準備は一時中断しましたが、2021 年 2 月本番に向けた本格的な準備を 2020 年 12 月頃から再開し、毎週オンラインで打合せを行いながら発表資料の準備を進めました。オンラインでの打合せは、情報共有が対面に比べて難しく感じましたが、頻繁にメンバーとやり取りを重ねることで有意義な打合せができたように思います。

ユースフォーラムでの BBS 発表資料には、京都 kongress・ユースフォーラムのテーマ (*2) に則して、ともだち活動の紹介や、BBS と SDGs (*3) とのつながりを盛り込みました。メンバーと意見を出し合う中で、各地区の活動や BBS 活動に対する様々な熱い想いを知ることができました。地区 BBS 会や都府県等 BBS 連盟、地方 BBS 連盟を超えた活動への参加は勇気がいりますが、非常に学ぶことが多い貴重な機会だと思います。

また、コロナ禍におけるBBS活動についても意見交換を行いました。ユースフォーラムに参加した他地区の会員の中には、オンラインでの活動を始めている会員も見られました。

東広島地区BBS会ではコロナ禍の活動はほとんど中止しており、今後の活動再開について課題が残っています。BBS活動はその性質上オンラインでの実施に少なからず制約がありますが、コロナ以前に一緒に活動していた子どもたち、コロナの影響で社会とのつながりが希薄になりつつある子どもたちのために、活動方法を模索していく必要があると感じました。今後、地区会を引っ張っていくみなさんを中心に、ぜひ頑張ってもらいたいと思います。

(*2) 京都 kongress の議題に関連したテーマ
(ユースフォーラムのテーマ)



(*3) SDGs (Sustainable Development Goals) ・
持続可能な開発目標とは



【ユースフォーラムに参加して】

京都 kongress ・ユースフォーラムは、2021 年 2 月 27～28 日に国立京都国際会館とオンライン参加を併用して行われました。

国内外の学生(大学生, 大学院生, 高校生)約 1 6 0 名が参加し、全体テーマ「安全・安心な社会の実現へ～SDGs の達成に向けた私たちの取組～」のもと、BBS から参加した 7 名は、議題 1 「青少年犯罪の予防・罪を犯した青少年の社会復帰における若者の役割」について、世界のユースとともに 2 日間にわたり議論を行いました。

私はオンライン参加だったため、残念ながら議論以外の場面で他の参加者と交流することはできませんでした。しかし、オンラインだからこそ、海外の参加者を含め多くの若者がコロナ禍においてもユースフォーラムに参加することができたと思います。

今後、BBS の活動もオンラインを使用したものが増えることで、地方の BBS 会員にとっても活動の幅が広がるように感じました。

「誰一人取り残さない社会」をつくるために若者ができることを世界のユースが議論し、ユースフォーラムとして勧告を採択し、第 1 4 回国連犯罪防止刑事司法会議に提出しました。

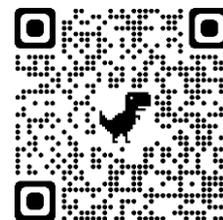
勧告文(*4)にはBBSに関する内容が盛り込まれ、BBS運動の意義が今後広く伝えられていくように感じました。

戦後から続けられてきたBBS運動ですが、実際に活動する中でその意義を明確に意識することはないかもしれません。しかし、その自然体で活動を楽しむ姿勢を評価していただく声も多く、これまでのように会員自身が楽しむことができる活動を大切にしていければと思います。

中国地方のBBS会員にとって日本BBS連盟や法務省などが関わるイベントに参加する機会は多くありません。しかし、様々な活動をしている全国のBBS会員や更生保護に専門的知識を持って関わっておられる法務省職員等との活動は、自分の地区会の活動を見直し、新たな学びを得るきっかけになると思います。

今後、中国地方のBBS会員みなさんに、全国の会員が集まる研修会や活動などにぜひ積極的に参加していただきたいです。

(*4) 京都 kongress・ユースフォーラム 勧告文 (仮和訳)
ユースフォーラムで協議した内容を、
第14回国連犯罪防止刑事司法会議へ勧告された文章。



<http://www.moj.go.jp/hogo1/soumu/hogo-kokusai06.html>

(京都 kongress・ユースフォーラムでのBBS会員の活動について・法務省ホームページ)



この写真は、報告者の鬼崎さんがユースフォーラムにオンラインで参加している模様です。

----- 【配信日:2021.03.26】

Q：更生保護施設で実施している食事サービスについて教えてください。

A：徳島県内の地区更生保護女性の持ち回り、更生保護施設「徳島自立会」で食事サービスを月に1回行っています。施設入所者に対して事前にアンケートを行ってメニューを決め、当日会員が食材を持ち寄って調理し、地域で採れたフルーツなどと共に提供しています。食事を食べた入所者から「美味しかった」、「ありがとうございます」などと声を掛けてもらえる、とても嬉しいと思います。提供する食事や、食事の何気ない会話を通して、彼らの立ち直りに少しでも貢献できればという思いで、今後もこの活動を続けていきたいと思っています。



更生保護施設での調理の様子【写真提供：徳島県更生保護女性連盟】

6 BBS会^{*6}

東広島地区BBS会 久住 浩慈さん

Q：BBS会員になったきっかけを教えてください。

A：大学の友達が「ボランティア活動をしたい」と言って、説明会と一緒に聞きに行ったことです。そのときは既に部活動もしていたのですが、部活動がオフの日に活動しているBBS活動に参加してみることにしました。自分が想像していた活動と実際の活動は違う部分もありましたが、人と交流することに興味を持ち、BBS活動を面白いと思ったので続けることにしました。

Q：BBS活動のやりがいを教えてください。

A：活動を通して、いろんな子どもたちに「お兄さん・お姉さん」として関わることができるのだと思います。出会う子どもたちの表情、活気、真剣に遊ぶ姿勢など、活動のたびに新たな気付きがあり、また、自分自身の勉強にもなるため、こうした点で面白さを感じます。

あるとき、私がレクリエーションの企画、運営をしたことがありました。その過程で、子どもたちが一生懸命夢中になれる活動は何だろうかと、と会員同士で意見を出し合いました。そのときは、「新聞紙」でどれだけ高いタワーを作れるか、というレクリエーションを行いましたが、予定していた時間が終わってからも、子どもたちが「こうすればもっと高くなるよ」、「こんな折り方はどうかな?」と試行錯誤する様子を見たときは、心の中がとてもあたたかくなりました。

活動で関わる子どもたちの人生に、少しでも良い影響を与えることが、BBS活動のやりがいだと考えています。

Q：主な活動について教えてください。

A：主な活動は二つです。一つ目は、毎週1回、児童自立支援施設に学習ボランティアとして赴き、学習支援活動を行っています。同施設では、夏から冬にかけて、サマーレクリエーション、文化祭での野菜販売、クリスマス会などの活動も実施しています。



児童自立支援施設の文化祭における野菜販売の様子【写真提供：東広島地区BBS会】

*6 BBS会
【施策番号59】参照。

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

特集

基礎資料

2つ目は、児童養護施設における交流活動です。この施設では、宿題の手伝いなどの学習支援や運動場で一緒に走り回ったりして時間を過ごしています。

その他にも、近くの小学校での学童保育のお手伝いや広島少年院での餅つき大会のお手伝いなど、学生BBS会員として関わることができる範囲でお手伝いもしています。

7 協力雇用主^{*7}

茨木地区更生保護協力雇用主会 吉岡 正宏さん(吉岡建設株式会社)

Q：協力雇用主になったきっかけを教えてください。

A：地元で保護司をしている知り合いから相談を受けて、保護観察を受けている人を何人か私の会社で雇用したことがきっかけで協力雇用主になりました。

また、協力雇用主として活動していく中で、仕事を続けることが犯罪や非行をした人の立ち直りに役立つという思いから、賛同してくれる事業主と共に、協力雇用主会を立ち上げました。

Q：協力雇用主のやりがいを教えてください。

A：私が雇用した元保護観察対象者だった人が10年、20年と仕事を続け、大きな仕事を任せられるようになったり、家庭を持つようになったりした姿を見るのが一番心に響きます。

また、協力雇用主会を立ち上げてからは、保護司を始め更生保護関係者との連携が強まり、保護司会のサポートで、茨木市にある浪速少年院の教育活動に参画させていただくようになりました。協力雇用主会に所属する協力雇用主3社が、全院生の前で、働く意義や仕事に必要な資格の話などをします。講座を聴いているときの院生の真剣な表情や、終了後のアンケートに「仕事を頑張り、今までは違う生き方をやり直したい」と書かれた決意を読むと、協力雇用主としてのやりがいを実感します。

Q：力を入れている取組について教えてください。

A：協力雇用主会として、浪速少年院で全院生を対象とした「魅力発見講座 DAIJI(注)」という取組を年間2回から3回実施しています。3社の協力雇用主がスクリーンに映った資料を使い、①働くことの意義、②社会に出てから大切なこと、③どのような業種や仕事があるのか、④仕事に必要な技術や資格といった内容を院生に話します。また、出院を控えた院生に対して、毎月「NEXT講座」と名付けた講座を行っています。これは、協力雇用主が、①面接の受け方や履歴書の書き方、②仕事のルールを守ることの大切さ、③会社内での協調性などについて、対面話をすることに特徴があります。

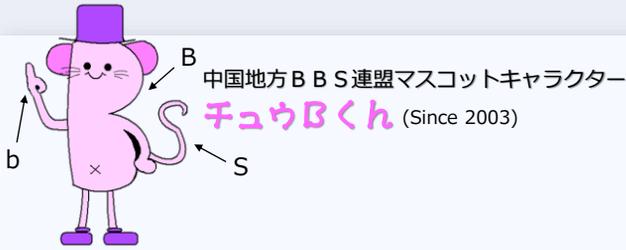
当会としては、茨木市における地域に密着した更生保護の事業に取り組むこととしており、これからも更生保護関係者や矯正施設、地方公共団体の理解と協力を得て活動を展開してまいります。

注「DAIJI」とは、D：DISCOVER、A：ATTRACTION、I：INTEREST、J：JOB、I：INFORMATIONの頭文字をとったもの。



少年院での活動の様子
【写真提供：茨木地区更生保護協力雇用主会】

*7 協力雇用主
【施策番号1、2】参照。



COVID-19による中国地方の 学生BBS会員への影響調査報告



SINCE 1947

BIG BROTHERS AND SISTERS

中国地方BBS連盟

事務局長 小山 貴弘 (こやまひろ)

mailto:takahiro.koyama@chugoku-bbs.org

2020年6月6日

～まとめ～



▼COVID-19による中国地方の学生BBS会員への影響
20%の人が生活に困っている
▼学生BBS会員が所属するBBS組織の活動状況
中国地方の学生会員が所属するすべてのBBS組織(9組織)で活動停止
▼中国地方BBS連盟ができることの模索(事務局案)
【即日実施】
✓コロナ禍における活動の相談窓口設置
【理事会へ提案】
✓オンラインによる活動へ助成
✓「長期間の休校による学習の遅れ」に対応した活動への助成
▼考察
●活動できる会員の減少・・・2割程度減を予想
●新入会員の減少・・・中国地方で6名の新入会員(2020年5月現在)
●いま、私たちそしてみなさんができること・・・ 準備と想像力

もくじ



	ページ
● 調査概要	3
● 結果① (学生生活への影響, BBS会・サークルにおける活動状況)	4
● 結果② (性別, 学年)	5
● 中国地方BBS連盟への要望	6
● いま、私たち(中国地方BBS連盟)ができることの模索 (事務局案)	7 - 8
● 考察	9
● 各大学等の支援策	10 - 11

ご協力くださった、学生BBS会員のみなさん、BBS組織のみなさん本当にありがとうございました m(_ _)m

調査目的

COVID-19により、少年と対面することが主なBBS活動が困難となったこと、そして学生の生活へも影響を及ぼしていることが社会問題の一つとなっていることから、BBS活動実施の主^(*)となる学生会員(中国地方)の現状を知り、できることがないか模索するためである。

(*)法務省保護局2020年1月1日現在の調査で、全国のBBS会員のうち学生は53.8%、中国地方では69.4%。

調査方法

中国地方BBS連盟事務局から、地方内の学生会員が所属するBBS会・サークルの長、または事務局長、保護観察所へ電子メールにて連絡し、会員への転送を依頼しました。

- ①組織への質問(メールにて返信依頼)
- ②会員への質問(Googleフォームを使用)

調査時期：2020年5月

有効回答率：57.6%

210名中、121名に回答いただきました。

ご協力頂いたBBS組織(9組織)

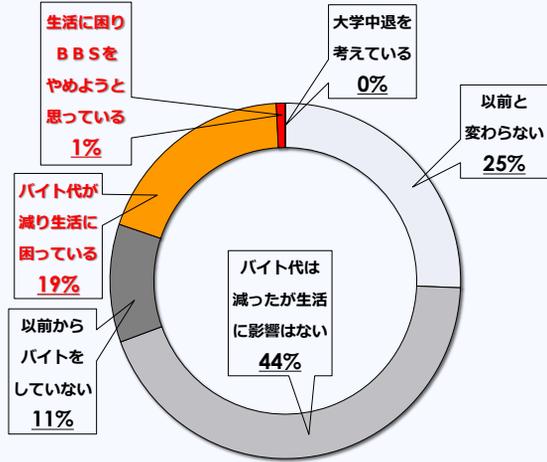
県	BBS組織名	大学名	会員数	新入会員数
鳥取	鳥取地区BBS会	鳥取大学 筑波大学 ^(*)	3	0
島根	松江地区BBS会	島根大学	19	0
	島根県立大学BBSサークル	—	44	0
岡山	川崎医療福祉大学BBSサークル	—	31	5
	美作大学BBS会	—	17	0
広島	東広島地区BBS会	広島大学	36	0
	三原地区BBS会	県立広島大学	13	0
	広島地区BBS会	広島修道大学	4	0
山口	山口BBS会	山口大学	43	1
		山口県立大学		
合計			210	6

(*)鳥取在住ではないが所属

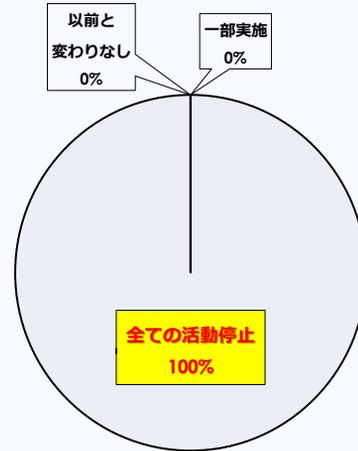
※会員数は新入会員数を含む



学生生活への影響 COVID-19の前後比較

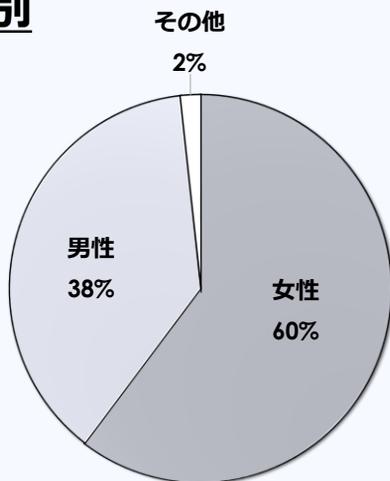


BBS会・サークルにおける活動状況(2020年5月時点)

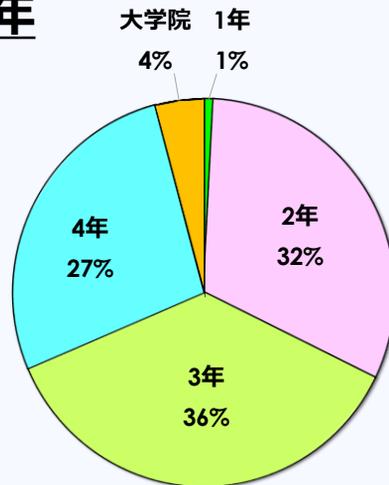


4

性別



学年



5

中国地方BBS連盟への要望

- Zoomなどオンラインでも良いので学習支援の活動ができると良い。
組織として継続するためには新会員の入会が必須だが、活動がないと勧誘もできない。
- 秋に開催予定の中国地方BBS大会が実施されるのかどうか早く知りたい。
- 子どもの教育を受ける権利の保障を地域という視点から何かして欲しい。
- 支援をお願いします。
- おかねをください。
- 6月からの下宿生活が心配ですが、現在は実家でオンライン授業を受けているので、今のところあまり不便はないです。

6

いま、私たち(中国地方BBS連盟)にできることの模索(事務局案) (1/2)

COVID-19が終息するまで、またはワクチンや治療薬を使用できるようになるまでは、活動が以前と同じようにできないと思います。まずは自らの生活を成立させることが最優先です。もしみなさんが活動に向けて準備する時に私たちがサポートできるよう、具体的な支援策について模索しました。

▼コロナ禍における活動の相談窓口を設置

窓口：中国地方BBS連盟事務局長

- ✓活動を開始するためにどうすればよいか等の相談
- ✓中国地方内外のBBS活動、また他のボランティア団体の方法について情報収集
- ✓活動情報について展開

※初めてのことであり、すべての相談に応えられないと思うので、窓口(こやま)から適切なところに知恵を頂く。

連絡先：090-9063-8038 (小山・こやま) ※仕事中など、電話に出られないことがあります。
<mailto:takahiro.koyama@chugoku-bbs.org>



即日実施

7

いま、私たち(中国地方BBS連盟)にできることの模索(事務局案) (2/2)

▼オンラインによる活動への助成

→地区会・サークルは会員と活動対象となる少年や施設のインターネット環境を確認することが必要となります。 **理事会で承認されれば助成実施**

▼「長期間の休校による学習の遅れ」この社会課題に対応した活動への助成

→活動の要望が施設や地域から出てくる可能性があります。会員とBBS組織として活動対象者の合意があれば活動実施可能と思われますが、必要となるマスクや消毒液、体温計など購入のための助成が可能と考えます。

※助成財源：今年度中国地方BBS会員研修会が中止になったことから、準備経費を除いた額を充てることが可能と考えます。

▼中国地方BBS連盟理事会を書面により開催し協議

→コロナ禍における活動へ助成できるか、また秋に開催予定の中国地方BBS大会等について協議を行い、結果を速やかに会員へ伝達し不安感を軽減する。

※研修や大会の準備について、心配の声は当連盟事務局に届いています。

考察



バイト代などの収入減により、2割の学生会員のみなさんの生活が苦しくなっていることは衝撃です。そして中国地方BBS連盟がみなさんに資金援助できるほどの財力がないのは心苦しいです。

学生のみなさんをご存知と思いますが、次ページ以降に国そして各大学の支援について掲載します。

▼活動できる会員の減少

今調査で**20%の学生が、生活に困る状況に追い込まれていることがわかりました。**言うまでもなく生きることが最優先なので、**2割程度の学生会員のみなさんが活動できない状況になることが予想されます。**

▼新入会員の減少

この調査で、**2020年4月以降の中国地方における学生新入会員は6名**とわかりました。法務省保護局が2019年4月1日現在で調査した結果で、2018年度の中国地方における新会員は104名(社会人含む)となっており、単純比較はできませんが大幅に少ないです。

▼いま、私たちやみなさんができること

コロナ禍においても状況によっては活動ができるようになるかもしれません。その時のために活動に必要な備品のリストアップや、行動マニュアル等を考える・想像することが大切だと思います。

各大学等の支援策（1/2）

文部科学省

- 「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』～学びの継続給付金～
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/mext_00686.html
- 新型コロナウイルス感染症の影響で学費等支援が必要になった学生のみなさんへ
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/1420041_00003.htm

鳥取大学

- 【学生の皆様へ】「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』（国の事業）について
<https://www.tottori-u.ac.jp/item/17588.htm#itemid17588>

島根大学

- 新型コロナウイルス感染症の影響により経済的支援が必要な方へ
<https://www.shimane-u.ac.jp/docs/2020050800052/>

島根県立大学

- 「島根県立大学独自の学生支援策」について
<http://www.u-shimane.ac.jp/emergency/0016.html>

川崎医療福祉大学

- 「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』について
<https://w.kawasaki-m.ac.jp/data/6329/topicsDtl/>

美作大学

- コロナ禍に係る美作大学生への緊急経済支援について
https://mimasaka.jp/news/info/200518_corona_keizaishien/

広島大学

- (2020.4.23) 応急学生支援金制度を開始しました - 新入生も申込み可能 -
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/57715>
- (2020.5.21)【文部科学省】「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』について
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/58076>

10

各大学等の支援策（2/2）

県立広島大学

- 新型コロナウイルス感染症に係る影響を受けた方に対する経済的支援等
<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/39/syougakukin20200505.html>
- 「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』についてのお知らせ
<https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/39/manabi-shien20200520.html>

広島修道大学

- 2020/04/28【緊急対策本部】【学生のみなさんへ】学生への緊急支援について
<https://www.shudo-u.ac.jp/news/nvu9p7000005h6r5.html>
- 2020/05/21【学生生活支援】「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』について（5/26更新）
<https://www.shudo-u.ac.jp/news/nvu9p7000005ldzr.html>

山口大学

- 学生の経済支援について
<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/8288/8509.html#2>

山口県立大学

- 学生・保護者の皆さまへ（新型コロナウイルス関連情報）
<https://www.yamaguchi-pu.ac.jp/st/covid19studentsinfo/index.html#b>

筑波大学

- 【学生の皆様へ】授業料の納付時期の延期について
<http://www.tsukuba.ac.jp/news/n202005181745.html>

11